

木島平村『水循環・資源循環のみち2022』構想

令和4年度策定

木島平村は、樽川、馬曲川の堆積による扇状地帯に形成されています。村の最大の財産、それは美しい自然であり、至るところに湧く清らかな水です。

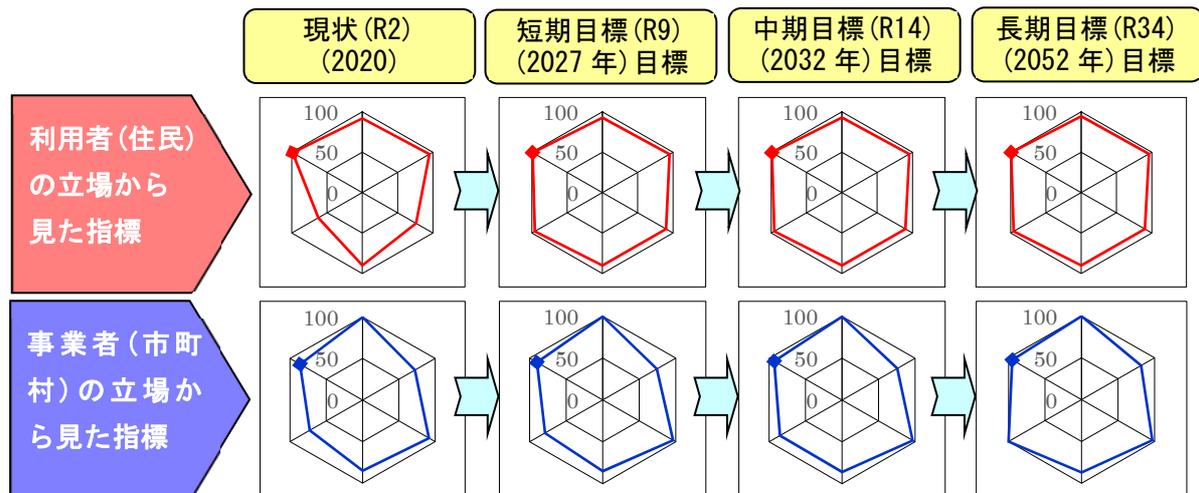
この自然環境や水環境を後生に残すため、平成2年から生活排水対策（下水道、農集排、浄化槽）を進めてきましたが、人口減少や高齢化の進展など社会情勢の変化への対応が求められています。

また、生活排水施設は、機能の維持や利用者である住民の皆様の利便性や快適性を持続していくため、今後とも適切な維持管理のもと運営を行っていく必要があります。

このため、50年先を見据えた経営計画に基づき、処理場の統合、汚泥処理の集約化、維持管理の効率化等を検討し、生活排水施設の持続的な運営と良好な水と資源の循環を目指すため、令和4年度に従来の構想を見直し、30年後までの生活排水対策の構想である「木島平村 水循環・資源循環のみち2022」を策定しました。

わが村の指標と目標

木島平村では、構想の目標年度である30年後までに向けて、利用者（住民）の立場から見た指標と事業者から見た指標として、県下の統一指標のほか、当町の現状を把握した上で、オリジナル指標を設定し、短期、中期、長期の目標を以下のとおり設定しました。



■利用者（住民）の立場から見た指標

(1) 暮らしの快適さと安全を表す評価項目

A 快適生活率(%)：91.9→92.6→92.9→94.5 【県下統一指標】

※長期目標 (R34) として93%以上の快適生活率を目指します。

① 水洗化率(%)：95.0→95.0→95.5→96.0

※下水道・農集・浄化槽を合わせた水洗化率。

(2) 環境への配慮を表す評価項目

B 環境改善指数(%)：76.0→90.0→90.0→90.0 【県下統一指標】

※良好な環境を保持するため90%を目指します。

② 河川美化率：90.0→90.0→91.0→92.0

※河川の水質、水生生物及び周辺の生き物の増加。

(3) 生活との関連性を表す評価項目

C 情報公開実施指数(%)：62.3→95.7→95.7→95.7 【県下統一指標】

※生活排水の情報を継続的に提供します。

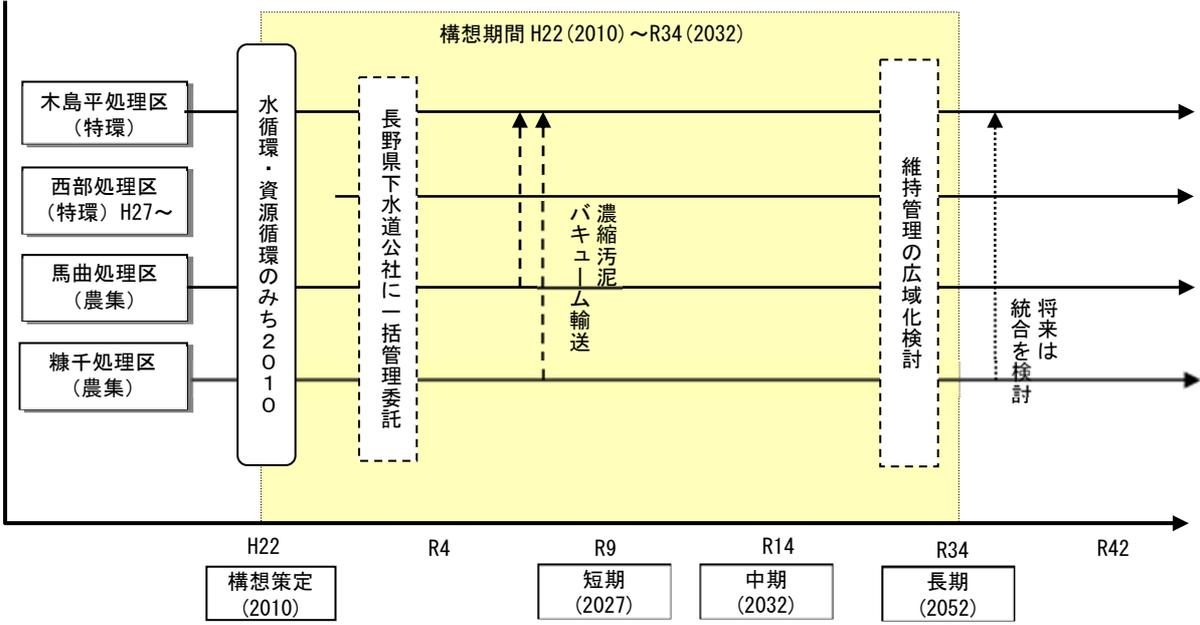
③ 料金未滞納率：98.9→99.0→99.1→99.3

※使用料の未滞納者の状況、99%以上を目指します。

- 事業者（市町村）の立場から見た指標
- (1) 事業の達成度を表す評価項目
- D 汚水処理人口普及率(%)：99.8→99.8→99.8→99.9 【県下統一指標】
 - ※長期目標（R34）として100%の普及率を目指します。
 - ④ 浄化槽の法定検査受検率(%)：72.1→74.2→75.7→81.7
 - ※適正な維持管理のため。
- (2) 環境への貢献を表す評価項目
- E バイオマス利活用率(%)：91.5→96.3→96.7→97.0 【県下統一指標】
 - ※バイオマスの利活用増加に努めます。
 - ⑤ 放流水基準に対する放流水質：85.0→85.0→86.0→87.0
 - ※良好な河川水質を維持するため。
- (3) 経営改善の状況を表す評価項目
- F 経営健全度(%)：73.0→79.0→85.0→100.0 【県下統一指標】
 - ※目標値の考え方を記入します。
 - ⑥ 維持管理費賄い率：86.3→90.0→93.0→95.0
 - ※汚水処理費の削減に努めます。

施設計画のタイムスケジュール

木島平村では、経営計画に基づき構想の具現化及び目標達成のため、短期、中期、長期及び超長期にわたっての施設計画等のタイムスケジュールを以下のとおりとしています。



住民参画への取組

従来から取組んできた住民参加の「ふう太河童の川普請」事業の継続により河川愛護を図り、合わせて生き物観察会を開催し水生生物の状況を把握する。

また、村民を対象に処理場の見学会等を通じ、下水道についての理解を図ります。（区長会、婦人会、老人クラブ各種団体及び小学校の児童を対象に実施）

今後は地元高校と学との連携を図り、より多くの人々の参加を目指します。

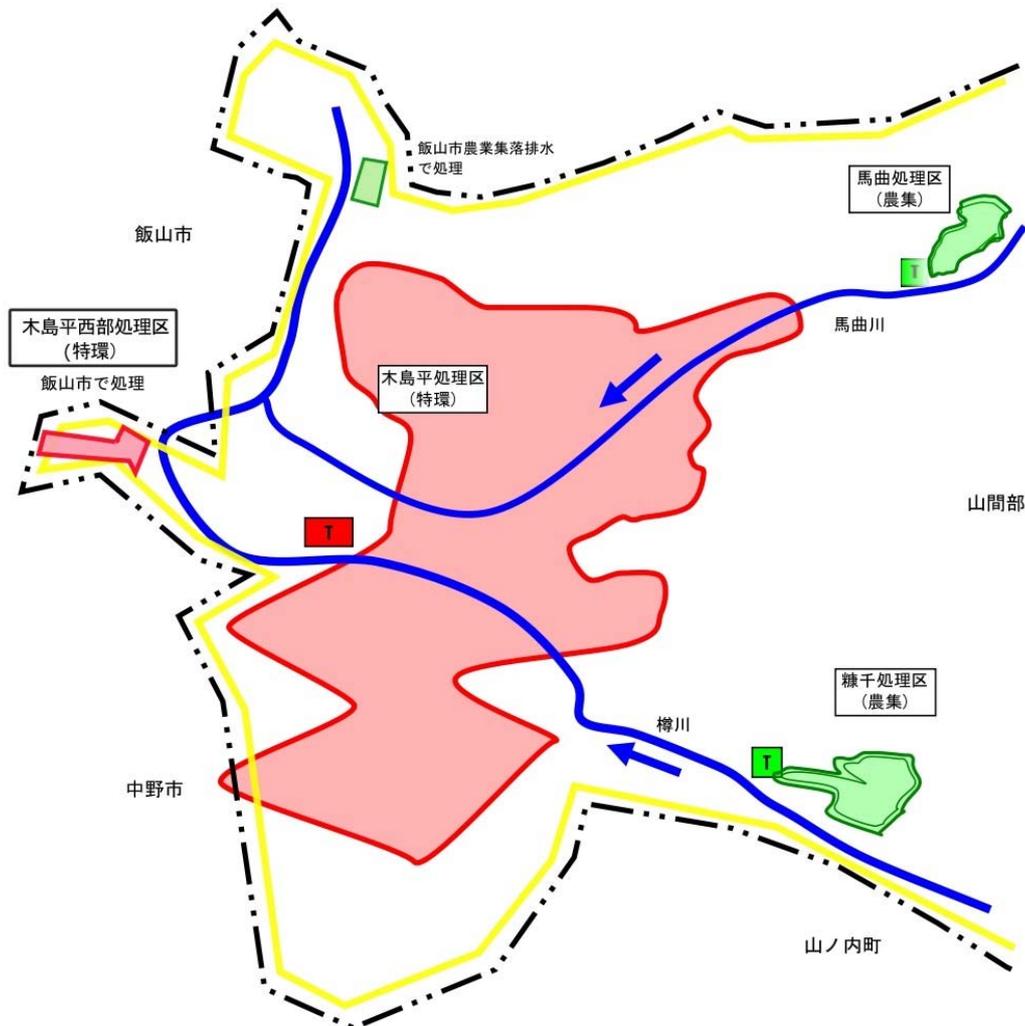
木島平村『生活排水エリアマップ2022』

令和4年度策定

木島平村の生活排水施設整備は、平成2年の特定環境保全公共下水道事業から始まり、平成16年のエリアマップを基本とし、適宜状況の変化に対応した見直しを行い、整備が進んできました。

生活排水エリアマップ2022では、持続可能な生活排水施設の観点から経営計画を長期にわたって検討した上で、施設配置や統合などを含め将来のマップを作成しました。（なお、詳細図については、別添図を参照）

生活排水エリアマップ2022（概要図）



■「生活排水エリアマップ2022」の概要

【長期】・糠千処理区、馬曲処理区の施設状況及び処理人口の状況により、木島平処理区との統合又は浄化槽区域への変更を検討する。（維持管理費の削減による経緯の合理化）

■将来人口と整備手法別人口割合

整備手法	R2	R5	R6	R7	R8	R9	R14	R34
行政人口（人）	4,564	4,438	4,396	4,354	4,319	4,284	4,109	3,478
特定環境保全公共下水道事業	95.7	95.8	95.8	95.8	95.8	95.8	95.8	95.7
農業集落排水事業	2.6	2.6	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.7
浄化槽	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7

アクションプランへの取組

(1) 未普及地域への取組

- ・集合処理区域の整備は完了しているため、今後は未接続者について理由を調査すると共に、排水対策の必要性を理解いただき、早期の接続を促します。

生活排水施設の統合について

◆糠干処理区（農業集落排水）

- ・平成27年に実施した「機能診断」では、直ちに対策が必要な大規模修繕等が無いため、現状のまま維持管理を継続することとしました。当面、木島平処理区との接続は見送ります。

防災・減災対策への取組

(1) 地震被害想定への取組

- ・村平地部などの液状化の危険性が高いとされる地域について、順次耐震診断の実施を検討し、必要に応じて対策を講じます。

(2) 防災・減災対策の取組

- ・平成26年度に策定した村下水道BCPについては、下水道BCP策定マニュアル改定毎に見直しを行い最新の状態にするよう努めます。

木島平村『バイオマス利活用プラン2022』

令和4年度策定

木島平村の生活排水施設系から発生する汚泥（バイオマス）は、木島平浄化センターの1箇所処理となっており、その処理処分は主に産業廃棄物として県外のセメント工場に搬出されており、その経費も経営にとっては負担が大きくなっています。このため、「バイオマス利活用プラン2022」では、長期目標として、周辺市町村と共同しバイオマスの適正処理（利活用）の検討を目指します。

木島平村におけるバイオマス利活用プラン

- 平成28年度から特環下水道処理場、農業集落排水処理場から発生する汚泥、年間約360トン
を県外のセメント工場へ搬出し、セメントの原料として処理されています。
- し尿及び浄化槽汚泥は一般廃棄物としてグリーンパークみゆき野にて処理されています。
- 村の生ごみ発生量は近年微増傾向にありますが、今後の人口減少と同様に徐々に減少することが予想されます。

「木島平村」バイオマス発生量予測

木島平村のバイオマス発生量は、将来の人口減少に伴い、汚泥量も減少することが予測されます。また内訳として、下水道への接続が進むことにより、し尿・浄化槽汚泥の発生量減少が見込まれます。

※定住人口が少ないため、観光人口により影響を受けると予想されます。

「木島平村」バイオマス利活用プラン

【短期】

- 特環下水道、農業集落排水については現状とおり、木島平浄化センターに集約し脱水汚泥をセメント原料化の方法で処理を行います。
- し尿、浄化槽汚泥については広域処理場で処理を行います。

【中期】

- 広域的なバイオマス利活用検討会等への参加

【長期】

- 特環下水道、農業集落排水、浄化槽汚泥、し尿の一体処理

木島平村『経営プラン2022』

令和4年度策定

木島平村では、平成6年に公共下水道が供用開始して以来、農集排を含め3処理区が供用開始済みとなっています。その経営状況は、使用料収入のほか、一般会計からの繰入により賄われています。

このため、将来にわたって持続可能な経営を検討していく必要があります。50年先の状況まで見通した上で、構想の策定目標年度の30年後までにできる改善計画を検討し「経営プラン2022」を策定しました。

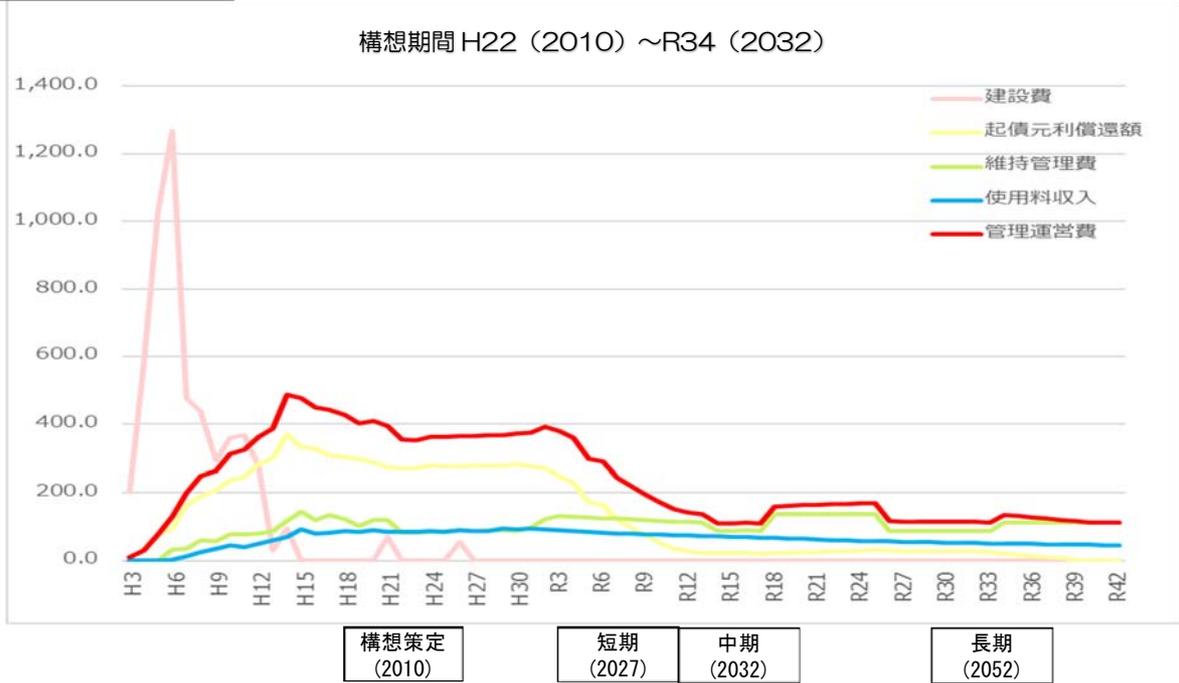
木島平村における生活排水の経営計画

- 経営計画の内容
 - 平成6年度から供用を開始した木島平村の下水道整備は概ね完了しており、現在は当初の建設費用とした地方債償還が下水道会計全体の約70%を占め、下水道事業経営を圧迫している状況です。令和2年度が地方債償還のピークで、その後は償還額が減少傾向となるため、一般会計からの繰入を減らすと共に、自主財源確保のため料金改定や維持管理の見直し等による経費の節減に努めているところです。
 - 今後は更なる人口減少が見込まれるため、施設の改築、更新事業を村民との合意を図りながら計画的に実施すると共に、農業集落排水施設の統廃合や適正な自主財源の確保を図り、安定的な下水道事業の経営に努めます。

- 管理経営の方法
 - 令和2年度から公共下水道、農業集落排水2施設の計3施設（マンホールポンプ場を含む）について、長野県下水道公社に一括で包括的管理委託を行い、維持管理の見直しや技術支援等により経費の節減を図っている。
 - 今後は北信広域で長野県下水道公社に維持管理業務の委託を検討。

- 浄化槽管理の方法
 - 広報やホームページ等による啓発活動と、浄化槽協会や維持管理業者等の関係機関と連携しながら、浄化槽の適正な維持管理の指導を推進します。

経営計画

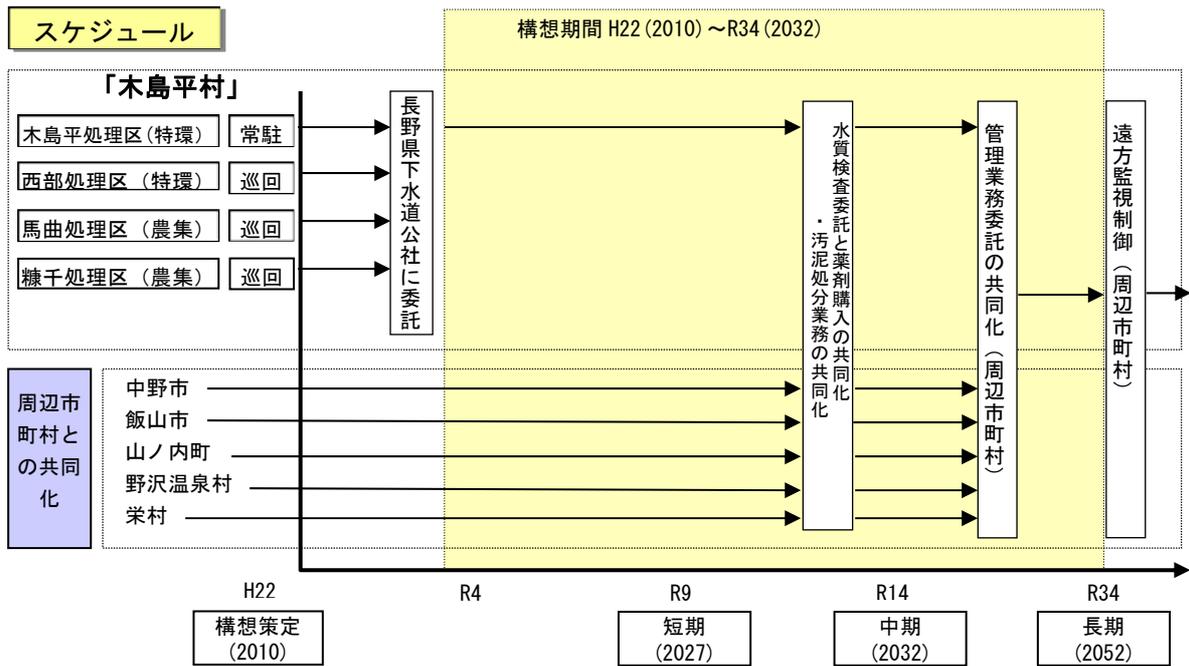


広域化による管理経営

- 広域化による管理経営についての検討
- 【短期】
- 長野県下水道公社に一括で包括的管理委託を行い、維持管理の見直しや技術支援等により経費の節減を継続していきます。
- 【中期】～【長期】
- 北信広域連合管内において、必要に応じて維持管理業務の共同化を検討します。

経営基盤の向上対策

- 経営基盤を向上させるための取組
- 令和2年度に使用料改定を実施、今後も定期的の使用料の検討を行い、必要に応じて改正を実施し使用料の適正化を図ります。
 - 集合処理区域での接続促進を強化し、水洗化率の向上（R34年度約96%以上）を目指します。
 - 地方公営企業法を令和5年度から適用し、経営の明確化を図ります。



現状把握と効果検証

■木島平村「水循環・資源循環のみち2015」構想の見直しに当たり、事業者が構想における現状把握と効果検証を行いました。その結果は次のとおりです。
また、その結果を基に今回見直しを行いました。

現状把握	効果検証結果	見直し方針
<p>令和2年度末現在の各指標は次のとおりです。</p> <p>A指標 91.0%</p> <p>①指標 95.0%</p> <p>B指標 76.0%</p> <p>②指標 90.0%</p> <p>C指標 62.3%</p> <p>③指標 98.9%</p> <p>D指標 99.8%</p> <p>④指標 72.1%</p> <p>E指標 91.5%</p> <p>⑤指標 85.0%</p> <p>F指標 73.0%</p> <p>⑥指標 86.3%</p>	<p>A指標は、目標の93.0%に達していません。原因は新規加入者が少なかったと考えられます。</p> <p>B指標は、目標の79.0%に達していません。次年度のレベルアップ不足が原因と考えられます。</p> <p>C指標は、目標の96.4%に達していません。原因は情報公開が進んでいないと考えられます。</p> <p>D指標は、目標の99.8%で、目標どおり整備が進んでいます。</p> <p>E指標は、概ね目標どおり進んでいます。</p> <p>F指標は、目標の81.0%に達していません。起債償還額が多いためと考えられます。</p>	<p>A指標は、令和9年の目標97.1%から91.7%に変更し、目標達成するように、下水道接続人口の増加に努めます。</p> <p>B指標は86%から90%に変更し環境改善に取り組みます。</p> <p>C指標は96.4%から95.7%に変更、情報公開の見直しを行います。</p> <p>D指標100%から99.8%に変更。</p> <p>E指標は93.2%から96.7%に変更、下水道・農集への接続に努めます。</p> <p>F指標は令和34年度に100%になるよう経営改善に努めます。</p>